

平成 26 年度実施

## 東京都看護職員就業等実態調査（管理者編）

## 調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員の就業数や就業実態を把握し、平成 28 年及び 29 年の看護職員の需給の推計の基礎データとするとともに、今後、東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■回答は、看護担当責任者（看護部長等）が記入し、各施設（所）長の了解を得た上でご提出ください。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】 株式会社サンビジネス（担当者：佐藤剛平・佐藤美奈子）

電話番号 03（3455）6332

ファクシミリ番号 03（3455）8909

電子メールアドレス kango@sunbi.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、2月20日（金曜日）までに投函してください。（切手は不要です。）

■本調査のデータ及び結果については、平成 28 年及び 29 年の看護職員の需給の推計並びに今後の東京都の看護職員確保対策以外に使用することはありません。

ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

なお、調査票の情報管理は厳重に取り扱い、施設や個人が特定されることはありません。

○本調査は、看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）に関して行うものであり、看護補助者は調査の対象ではありません。

○特に指定のない項目は、平成 26 年 12 月 31 日現在で記入してください。

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべての施設が回答の対象です。



## I 基本情報(「施設の基本情報」についてお聞きします)

問1 貴施設の正式名称を記入してください。

--

(例)医療法人社団〇〇病院 〇〇クリニック 〇〇訪問看護ステーション

問2 住所を記入してください。(区市町村名から)

--

問3 貴施設の設置主体を選択してください。

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| ① 国                   | ⑧ 学校法人            |
| ② 独立行政法人              | ⑨ 社会福祉法人          |
| ③ 国立大学法人              | ⑩ 公益社団法人・公益財団法人   |
| ④ 都道府県・市町村(一部事務組合を含む) | ⑪ 医療法人(社会医療法人を含む) |
| ⑤ 地方独立行政法人            | ⑫ 株式会社            |
| ⑥ 公的団体(日赤、済生会)        | ⑬ その他の法人          |
| ⑦ 社会保険関係団体            | ⑭ 個人              |

回 答

問4 貴施設の施設種別(機能)を1つ選択してください。

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| ① 病院(急性期中心) | ⑧ 訪問看護ステーション      |
| ② 病院(回復期中心) | ⑨ 助産所             |
| ③ 病院(慢性期中心) | ⑩ 介護老人保健施設        |
| ④ 精神科病院     | ⑪ 介護老人福祉施設        |
| ⑤ ①～④以外の病院  | ⑫ 有料老人ホーム         |
| ⑥ 有床診療所     | ⑬ 通所介護事業所         |
| ⑦ 無床診療所     | ⑭ 保健所・市町村・その他行政機関 |

回 答

(→施設種別が、「⑧訪問看護ステーション」、「⑨助産所」、「⑩介護老人保健施設」、「⑪介護老人福祉施設」、「⑫有料老人ホーム」、「⑬通所介護事業所」、「⑭保健所・区市町村・その他行政機関」の場合は、問10へ)

【施設種別が「①～⑤病院」「⑥有床診療所」の場合にお答えください。】

問5 平成26年10月1日現在の病床種別ごとの許可病床数及び平成26年10月における1日平均入院患者数を記入してください。

※療養病床、精神病床に指定介護療養型医療施設がある場合には、その病床数を内数で記入してください。

※「平成26年10月」は、平成26年10月1日から平成26年10月31日までのことをいいます。

	一般病床	療養病床		精神病床		結核病床	感染症病床	合計	
		指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)				
病床数 (床)									
入院患者数 (人)									

【施設種別が「①～⑤病院」「⑥有床診療所」「⑦無床診療所」の場合にお答えください。】

問6 平成26年10月における1日平均外来患者数を記入してください。

外来患者数		人	(→施設種別が「⑥有床診療所」「⑦無床診療所」の場合は、問10へ)
-------	--	---	-----------------------------------

【施設種別が「①～⑤病院」の場合にお答えください。】

問7 病床種別ごとに、平成26年の平均在院日数を記入してください。

一般病床		日
療養病床		日
精神病床		日
結核病床		日
感染症病床		日
全体平均		日

\*「平成26年」は、平成26年1月1日から平成26年12月31日までのことをいいます。

\* 小数点以下第2位を四捨五入してください。

【施設種別が「①～⑤病院」で「一般病床を有する」場合にお答えください。】

問8 一般病床を有する場合、平成26年12月31日現在、取得している看護配置基準を選択してください。

- ① 7対1
- ② 10対1
- ③ 13対1
- ④ 15対1

回答

【施設種別が「①～⑤病院」で「一般病床を有する」場合にお答えください。】

問9 一般病床を有する場合、平成29年までに、看護配置基準を変更する予定はありますか。

- ① 予定がある (→問9-1へ)
- ② 具体的ではないが、変更したい意向がある (→問9-2へ)
- ③ 予定はない (→問15へ)

回 答

【問9で「① 予定がある」を選択した場合にお答えください。】

問9-1 どの看護配置基準に変更する予定ですか。次から選択してください。また、おおよその時期を記入してください。

＜変更後の看護配置基準＞

- ① 7対1
- ② 10対1
- ③ 13対1
- ④ 15対1

(→問15へ)

回 答		
配置基準	変更予定時期	
	平成	年 月

【問9で「② 具体的ではないが、変更したい意向がある」を選択した場合にお答えください。】

問9-2 どの看護配置基準への変更の意向がありますか。次から選択してください。

＜変更後の看護配置基準＞

- ① 7対1
- ② 10対1
- ③ 13対1
- ④ 15対1

(→問15へ)

回 答

【施設種別が「⑥～⑭病院以外」又は、一般病床のない「病院」の場合にお答えください。】

問10 看護職員配置数の変更を伴う施設機能の変更や、サービス内容・水準等の変更の予定はありますか。

- ① 予定がある
  - ② 具体的ではないが、変更したい意向がある
  - ③ 予定はない (→問11～14へ)
- } (→問10-1へ)

回 答

【問10で「① 予定がある」「② 具体的ではないが、変更したい意向がある」を選択した場合にお答えください。】

問10-1 どのような変更を予定していますか。具体的に記入してください。

【施設種別が「⑩介護老人保健施設」「⑪介護老人福祉施設」「⑫有料老人ホーム」の場合にお答えください。】

問11 平成26年10月1日現在の入所者数及び施設入所定員を記入して下さい。

入所者数		人
施設入所定員		人

【施設種別が「⑩介護老人保健施設」「⑪介護老人福祉施設」で通所サービスを併設している場合 及び ⑬「通所介護事業所」の場合にお答えください。】

問12 平成26年10月における1日の平均通所者数は何人ですか。

※「平成26年10月」は、平成26年10月1日から平成26年10月31日までのことをいいます。

通所者数		人
------	--	---

【施設種別が「⑧訪問看護ステーション」の場合にお答えください。】

問13 平成26年10月における利用実員数及び訪問回数の合計を記入してください。

※「平成26年10月」は、平成26年10月1日から平成26年10月31日までのことをいいます。

利用実員数		人
訪問回数		回

【施設種別が「⑥有床診療所」「⑦無床診療所」「⑫有料老人ホーム」「⑬通所介護事業所」の場合にお答えください。】

問14 貴施設に看護職員は従事していますか。

- ① 従事している
- ② 従事していないが、今後配置する
- ③ 従事していず、今後も配置しない

} (→問15へ)

⇒ 調査は以上で終了です。  
御協力ありがとうございました。

回答

Ⅱ 就業状況について

「就業状況」についてお聞きします

問15 平成26年10月1日現在、在籍している看護職員(休業退職者を含む)について、就業形態別、職種別の職員数を記入してください。

(単位：人)

①	常勤						非常勤			就業者合計	
	実人員	就業時間②	常勤換算③	短時間正規雇用(内数)④			実人員	就業時間⑦	常勤換算⑧	実人員	常勤換算⑨
				実人員	就業時間⑤	常勤換算⑥					
保健師											
助産師											
看護師											
准看護師											
計											

【注釈】

- ①複数免許を有する場合は、実際に行っている業務に最も関係する資格欄に記入してください。  
例えば、助産師と看護師の免許を所有しており、主に看護業務を行っている場合は、「看護師」欄に記入することになります。
- ②常勤の就業時間については、各施設のフルタイム職員1人当たりの週の所定労働時間を記入してください。
- ③常勤の常勤換算は、以下のようになります。  
「フルタイム職員の人数」+「短時間正規雇用全員の週の所定労働時間合計」÷「フルタイム職員1人当たりの週の所定労働時間」  
(計算例)  
フルタイム職員が50人で、フルタイム職員1人当たりの週の所定労働時間が40時間、短時間正規雇用全員の週の所定労働時間の合計が950時間の場合  
50人 + 週950時間÷所定労働時間40時間=73.8人 →小数点以下第2位を四捨五入してください。
- ④「短時間正規雇用」は、通常のパートタイマーとは異なり、雇用期間の定めがなく、社会保険の適用、退職金の支給、昇進資格、教育訓練や福利厚生などの適用などが正規雇用職員と同様で、かつ就業時間が短い職員をいいます。
- ⑤短時間正規雇用の就業時間は、各施設で勤務している短時間正規雇用全員の週の所定労働時間の合計を記入してください。
- ⑥短時間正規雇用の常勤換算については、以下のようになります。  
「短時間正規雇用の週の所定労働時間合計」÷「フルタイム職員1人当たりの週の所定の労働時間」
- ⑦非常勤の就業時間については、各施設で勤務している非常勤全員の週の所定労働時間の合計を記入してください。
- ⑧非常勤の常勤換算については、以下のようになります。  
「非常勤全員の週の所定労働時間合計」÷「フルタイム職員1人当たりの週の所定の労働時間」
- ⑨就業者合計の常勤換算は、以下のようになります。  
「常勤の常勤換算」+「非常勤の常勤換算」

問16 平成26年12月31日現在、在籍している看護職員数(休業退職者を含む)について、就業形態別・年齢区分別ごとに記入してください。

(単位：人)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳～	合計
常勤職員												
非常勤												

※合計は、問15の常勤及び非常勤の実人員数の計と一致します。

問17 平成23年から平成26年(各年12月31日現在)の在籍人数(休業休職者を含む)を記入してください。

(単位:人)

	常勤 (常勤換算)	非常勤 (常勤換算)	合計
平成23年			
平成24年			
平成25年			
平成26年			

※平成26年の数字は、問15の常勤及び非常勤の常勤換算の計と一致します。

問18 平成27年4月までの採用予定人数並びに平成26年12月31日現在の求人数及び求人理由の番号を記入してください。

採用予定時期	採用予定人数			求人理由 (下記から上位2つまで)	
		うち内定者	12/31の求人数		
平成27年1月～3月	人	人	人		
平成27年4月	人	人	人		

【求人理由】

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ① 定期採用(退職者補充)    | ⑤ 病床数・定員等の増       |
| ② 欠員補充           | ⑥ 施設基準(看護配置基準)の変更 |
| ③ 産休・育休等取得予定者の代替 | ⑦ 看護体制・サービスの強化、充実 |
| ④ 長期研修派遣者の代替     | ⑧ その他( )          |

※最終的に法人全体で人員計画を決定される場合であっても、施設としての需要数を記入してください。



今後の看護職員配置計画についてお聞きます

問19 平成26年12月31日現在在籍している看護職員(休業退職者を含む)及び、平成27年から平成29年までの看護職員配置計画(12月末時点)について、以下の表に人数を記入してください。

【平成27年～29年の配置計画】

(単位:人)

	平成26年(12月31日現在)		平成27年末時点		平成28年末時点		平成29年末時点	
	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
看護職員								
(再掲)看護配置基準見直しに係る増減								
(内数)助産師数								

※常勤換算については、問15の注釈を参考にしてください。

※最終的に法人全体で人員計画を決定される場合であっても、施設としての需要数を記入してください。

〔記入例〕平成27・28年に看護配置基準見直しにより増員する計画がある場合

(単位:人)

	平成26年(12月31日現在)		平成27年末時点		平成28年末時点		平成29年末時点	
	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
看護職員	50	40.5	65	52.3	80	60.8	80	60.8
(再掲)看護配置基準見直しに係る増減			15	11.8	30	20.3	30	20.3
(内数)助産師数	6	4.2	8	6	8	6	8	6

〔記入例〕看護配置基準見直し以外で段階的に増員する計画がある場合

(単位:人)

	平成26年(12月31日現在)		平成27年末時点		平成28年末時点		平成29年末時点	
	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
看護職員	50	40.5	55	43.5	55	43.5	60	47
(再掲)看護配置基準見直しに係る増減			0	0	0	0	0	0
(内数)助産師数	6	4.2	6	4.2	6	4.2	8	6

【平成29年末までに看護職員の増減予定がある場合にお答えください。】

問19-1 平成29年末までの需要人員の主たる増減理由を1つ選択してください。

- ① 施設基準(看護職員基準)の変更
- ② 病床数・定員数等の変更
- ③ 新たなサービスの展開、サービスの強化・充実
- ④ サービスの見直し、縮小・廃止
- ⑤ 勤務環境の充実、見直し
- ⑥ 患者や利用者の実態に応じた職員の増減
- ⑦ その他( )

回答

Ⅲ 採用・確保の状況について

問20 職員採用の考え方として、次の中で採用したい優先順位を付けてください。

- ① 他分野の大学等進学や社会人を経験していない新卒者
- ② 他分野の大学等進学や社会人を経験している新卒者
- ③ 育児中の看護職経験者
- ④ 今後出産・育児の可能性のある看護職経験者
- ⑤ 育児が終了している看護職経験者
- ⑥ 定年退職後の再就職者

順位	1	2	3	4	5	6
回答						

※「新卒者」とは、免許取得後1年未満の者をいいます。

問20-1 職員採用の考え方として、次の中で採用したい優先順位を付けてください。

(①～④は、いずれも看護師免許のみ所持している職員として考えてください。)

- ① 看護系大学院卒業
- ② 看護系大学卒業
- ③ 看護系短期大学卒業
- ④ 専門学校卒業
- ⑤ 准看護師課程卒業
- ⑥ 学歴、卒業施設による区別なし

順位	1	2	3	4	5	6
回答						

問21 平成26年の採用状況(人数)について、年齢別に記入してください。

(単位:人)

		～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳～	合計
採用 総数	常勤職員												
	非常勤												
新卒 (内数)	常勤職員												
	非常勤												

※「平成26年」は、平成26年1月1日から平成26年12月31日までのことをいいます。

問22 新人看護職員の定着状況について、5年前(平成21～22年頃)と比べてどのように感じますか。

- ① 良くなっている(定着している)と感じる
- ② やや良くなっていると感じる
- ③ 変わらない
- ④ やや悪くなっていると感じる
- ⑤ 悪くなっていると感じる

回答

問23 平成26年4月採用の新卒者の数を都内養成施設、都外養成施設別に記入してください。

(単位:人)

	都内養成施設	都外養成施設	計
新卒者			

問24 新卒者の採用・確保について、効果をあげていると感じる取組に回答欄に○を付けてください。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ① 求人誌・求人広告              | ⑧ EPAの積極的な受入れ           |
| ② ホームページ・フェイスブック等ウェブサイト | ⑨ 外国人看護師(EPA以外)のリクルート   |
| ③ 合同説明会への参加             | ⑩ 独自の返還免除規定のある貸付金の実施    |
| ④ いつでも見学、相談ができるようにしている  | ⑪ 東京都修学資金の返還免除対象施設であること |
| ⑤ 積極的に学生実習を受け入れる        | ⑫ 看護職員のロコミ              |
| ⑥ 養成施設へのリクルート           | ⑬ その他( )                |
| ⑦ 有料職業紹介事業者の利用          |                         |

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
回答													

問25 再就業者の採用・確保について、効果をあげていると感じる取組に回答欄に○を付けてください。

- |                         |                                  |
|-------------------------|----------------------------------|
| ① ナースバンク(無料職業紹介所)の利用    | ⑧ 退職者を勧誘                         |
| ② ハローワーク(職業安定所)の利用      | ⑨ 看護職員のロコミ                       |
| ③ 有料職業紹介事業者の利用          | ⑩ いつでも見学、相談ができるようにしている           |
| ④ 新聞の折り込み広告             | ⑪ 東京都ナースプラザの地域確保支援事業(復職支援研修)への協力 |
| ⑤ 駅などでの求人広告の掲示          | ⑫ 教育機関・養成所からの紹介                  |
| ⑥ 就職相談会への参加             | ⑬ その他( )                         |
| ⑦ ホームページ・フェイスブック等ウェブサイト |                                  |

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
回答													

【有料職業紹介事業者を利用している場合にお答えください。】

問26 事業者への年間支払金額の総額は、おおよそどれくらいですか。(直近1年間)

	円
--	---

問26-1 事業者から紹介された職員の定着状況は、どのように感じますか。

- ① かなり良い(定着している)
- ② どちらかといえば良い
- ③ ふつう
- ④ どちらかといえば悪い
- ⑤ かなり悪い(定着していない)

回答

問27 正規雇用職員の退職について、定年を定めていますか。  
定めている場合は、年齢を記入してください。

- ① 定年を定めている  歳 (→問27-1へ)
- ② 定年を定めていない (→問27-2へ)

回答

【問27で「①定年を定めている」と回答した方はお答えください。】

問27-1 定年退職者を改めて雇用する制度はありますか。ある場合は、就業できる上限年齢を記入してください。

- ① ある  歳
- ② ない

回答

【すべての施設に回答をお願いします。】

問27-2 定年退職後の看護職員の雇用について、最も近い考えを選択してください。

- ① 自施設・他施設いずれの退職者も、積極的に雇用したい
- ② 自施設の定年退職者であれば、積極的に雇用したい
- ③ 自施設・他施設いずれの退職者であっても、雇用してもよい
- ④ 自施設の定年退職者であれば、雇用してもよい
- ⑤ できれば雇用したくない

回答

【すべての施設に回答をお願いします。】

問27-3 定年退職後の看護職員に、どのような役割を期待して採用しますか。あてはまるものすべてを選択してください。

- ① スタッフとして即戦力
- ② 看護管理者
- ③ 看護職員の教育・指導、ノウハウの伝承
- ④ 困難な事例への対応
- ⑤ 看護職員のメンタルヘルス対応
- ⑥ その他( )

回答					

## IV 定着について

## 定着対策についてお聞きします

【病床数が200床未満の「病院」の場合にお答えください。】

問28 都では、病床数200床未満の病院を巡回訪問し、多様な勤務形態の導入等の勤務環境改善や新人看護職員研修等の研修体制構築に向けた取組に対して、就業協力員が助言・指導等を実施する事業を実施しています。貴施設では、この事業を利用したことがありますか。

- ① 利用したことがある (→問28-1～問28-2へ)  
 ② 利用したことがない (→問28-3へ)

回 答

【問28で「① 利用したことがある」を選択した場合にお答えください。】

問28-1 看護職員の確保・定着促進に効果がありましたか。

- ① 効果があった  
 ② 効果がなかった  
 ③ わからない

回 答

【問28で「① 利用したことがある」を選択した場合にお答えください。】

問28-2 利用した感想、ご意見等を自由に記入してください。

--

【問28で「② 利用したことがない」を選択した場合にお答えください。】

問28-3 利用したことがない理由を1つ選択してください。

- ① 事業を知らなかった  
 ② 必要性を感じていない  
 ③ 効果があるのかわからない  
 ④ 第三者(就業協力員)が自施設に立ち入ることに抵抗がある  
 ⑤ 独自でコンサルテーションを依頼している  
 ⑥ その他( )

回 答

問29 都では、看護職員の離職防止・定着を図るため、施設・設備整備補助を実施していますが、どのような補助事業があれば貴施設の看護職員の定着促進に向けて取り組みやすくなりますか。ご意見を自由に記入してください。

【参考：現在実施している補助事業】 ※いずれも、一部を除く病院が対象

- 看護職員宿舎の個室整備に伴う新築・改築・改修経費補助
- ナースステーション・処置室・カンファレンスルームの新築・拡張に要する経費補助
- 看護外来相談の新規開設に伴う施設・設備整備補助
- 院内助産所・助産師外来の整備に要する経費補助

問30 貴施設において職員の離職防止等に効果をあげている対策があれば、その内容を記入してください。

**「人材育成」についてお聞きます**

問31 新人職員用の研修プログラム(新人研修プログラム)を整備していますか。

※ここでいう「新人研修」とは、免許取得後1年未満の者を対象とした研修のことをいいます。

- ① 整備している
- ② 整備している途中である(平成27年3月末までには整備できる)
- ③ 整備していない (→問31-1へ)

回答

【問31で「③ 整備していない」を選択した場合にお答えください。】

問31-1 新人看護職員の研修・教育は、どのように行っていますか。1つ選択してください。

- ① 日常業務の中で指導している
- ② 看護協会・ナースプラザの研修に参加
- ③ 他施設(同一法人内)の研修に参加
- ④ 他施設(同一法人以外)の研修に参加
- ⑤ 新人看護職員を採用していない
- ⑥ その他( )

回答

問32 平成26年12月31日現在の専門看護師・認定看護師の配置状況及び今後平成29年までの配置計画について、あてはまるものに○を付けてください。  
また、内訳に人数を記入してください。

	配置状況 (平成26年12月31日現在)		平成29年末までの増員予定	
	あり	なし	あり	なし
専門看護師	あり	なし	あり	なし
認定看護師	あり	なし	あり	なし

## &lt;内訳&gt;

## ◎専門看護師

(単位:人)

	平成26年 12月31日現在	平成29年末まで		平成26年 12月31日現在	平成29年末まで
がん看護			慢性疾患看護		
精神看護			急性・重症患者看護		
地域看護			感染症看護		
老人看護			家族支援		
小児看護			在宅看護		
母性看護			合計		

## ◎認定看護師

(単位:人)

	平成26年 12月31日現在	平成29年末まで		平成26年 12月31日現在	平成29年末まで
救急看護			透析看護		
皮膚・排泄ケア			手術看護		
集中ケア			乳がん看護		
緩和ケア			摂食・嚥下障害看護		
がん化学療法看護			小児救急看護		
がん性疼痛看護			認知症看護		
訪問看護			脳卒中 リハビリテーション看護		
感染看護			がん放射線療法看護		
糖尿病看護			慢性呼吸器疾患看護		
不妊症看護			慢性心不全看護		
新生児集中ケア			合計		

問33 特定行為研修が実施された場合、職員を受講させたいですか。

- ① 必ず受講させたい
- ② 職場の体制が整えば、受講させたい
- ③ 受講希望者がいたとき考える
- ④ 必要性を感じないため、受講させる予定はない
- ⑤ 人的余裕がなく、受講させられない
- ⑥ その他( )

回答

**【特定行為研修】**

特定行為とは、医師又は歯科医師の指示の下、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門知識及び技能をもって行う必要のある行為を指します。

医師又は歯科医師の指示の下、プロトコールに基づき、特定行為を行おうとする看護師は、厚生労働大臣が指定する研修機関において、厚生労働省で定める基準に適合する研修の受講が義務づけられています。



## V 退職について

問34 平成23年から平成26年の常勤職員の退職者の人数について記入してください。

(単位：人)

平成23年			平成24年			平成25年			平成26年		
常勤	内数		常勤	内数		常勤	内数		常勤	内数	
	新人職員	定年		新人職員	定年		新人職員	定年		新人職員	定年

※各年1月1日から12月31日までの人数を記入してください。

※法人内の異動は含みません。

※「新人職員」の欄には、免許取得後、初めて就業してから1年以内に、退職した人数を記入してください。

問35 平成26年における常勤職員の退職者の人数を主な退職理由別に記入してください。

(単位：人)

理由	総数(再掲・新人)	理由	総数(再掲・新人)
① 結婚	( )	⑧ 看護技術に不安	( )
② 出産・育児	( )	⑨ 待遇への不満	( )
③ 転居	( )	⑩ 職場の人間関係	( )
④ 本人の心身の不調	( )	⑪ 定年	( )
⑤ 家族の健康・介護問題	( )	⑫ 進学	( )
⑥ 勤務負担	( )	⑬ その他( )	( )
⑦ 責任の重さ・医療事故への不安	( )	合計	( )

※( )内には、常勤職員の退職者のうち、新人職員の人数を記入してください。

※合計は、問34の平成26年の人数と一致します。

問36 平成26年の常勤職員の退職者の勤続年数別の人数を記入して下さい。

(単位：人)

勤続年数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	合計
退職者数								

※合計は、問34の平成26年の人数及び問35の合計と一致します。

問37 最近の退職者の在職期間について、5年前(平成21～22年頃)と比べて、どのように感じますか。

近いものを選択してください。

- ① 長くなっている(長く職場に定着している)と感じる
- ② やや長くなっていると感じる
- ③ 変わらない
- ④ やや短くなっていると感じる
- ⑤ 短くなっている(職場に定着していない)と感じる

回答

## VI その他

問38 東京都ナースプラザを知っていますか。

- ① 知っている (→問38-1へ)  
 ② 知らない (→問39へ)

【問38で「① 知っている」を選択した場合にお答えください。】

問38-1 東京都ナースプラザ事業のうち、知っているもの、利用したことがあるもの、成果があったと思うものをすべて選択し、○を付けてください。

	知っている	利用したことあり	成果があった
① 無料職業紹介所(ナースバンク)			
② ふれあいナースバンク(再就職相談会)			
③ 再就業やスキルアップ、資質向上のための研修			
④ 1日看護体験学習			
⑤ 都民に対して、看護への関心・理解を深めてもらう事業		/	
⑥ 復職支援研修			
⑦ 就業協力員による病院巡回訪問			

問39 東京都ナースプラザでは、看護職の無料職業紹介所であるナースバンクを設置し、看護職に対する復職に向けた研修、就業相談・あっせん等を行い、再就業を支援しています。貴施設の退職する職員に対して、ナースバンクの情報を提供していますか。

- ① 情報を提供している  
 ② 情報を提供していない

回答

問40 貴施設の職員は、東京都ナースプラザを知っていると思いますか。

- ① (ほぼ)全員知っていると思う  
 ② 多くは知っていると思う  
 ③ 半分くらいは知っていると思う  
 ④ あまり知らないと思う  
 ⑤ ほぼ知らないと思う

回答

問41 今年10月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、離職した場合などに住所、氏名等の届け出をすることになりますが、このことを知っていますか。  
(看護師等免許保持者の届出制度)

- ① 知っている
- ② 知らない

回 答

問41-1 届出先が東京都ナースプラザであることを知っていますか。

- ① 知っている
- ② 知らない

回 答

問41-2 届け出について、施設管理者が一括して届け出ることを考えていますか。

- ① 考えている
- ② 考えていない

回 答

ご連絡先

施設名：

TEL：

FAX：

担当者名：

※ 回答内容に齟齬等があった場合など、お問い合わせさせていただくことがあります。□  
ご連絡先を記載してください。

以上で調査は終了です。

御協力ありがとうございました。